

A: 団らんキッチン空間 キッチン家具へ

従来の住宅の間取りでは“キッチン”という場所が大きく取られている。
最少でも4.5畳。一般的なマンションの和室ほどの広さである。



現在では対面式キッチンが増え、昔より家族とのコミュニケーションが取れるようになった、とされているが…それは本当だろうか？

- ・個食と孤食
- ・家事の手伝いをしない子どもと、それを上手く躾けられない親
- ・テレビの音しか流れない食卓、家庭

家族間の
コミュニケーション不足

現代では共働きの家庭が多いのにも拘らず、「キッチン母親（妻）の場所」と暗に思われている家庭が多い。

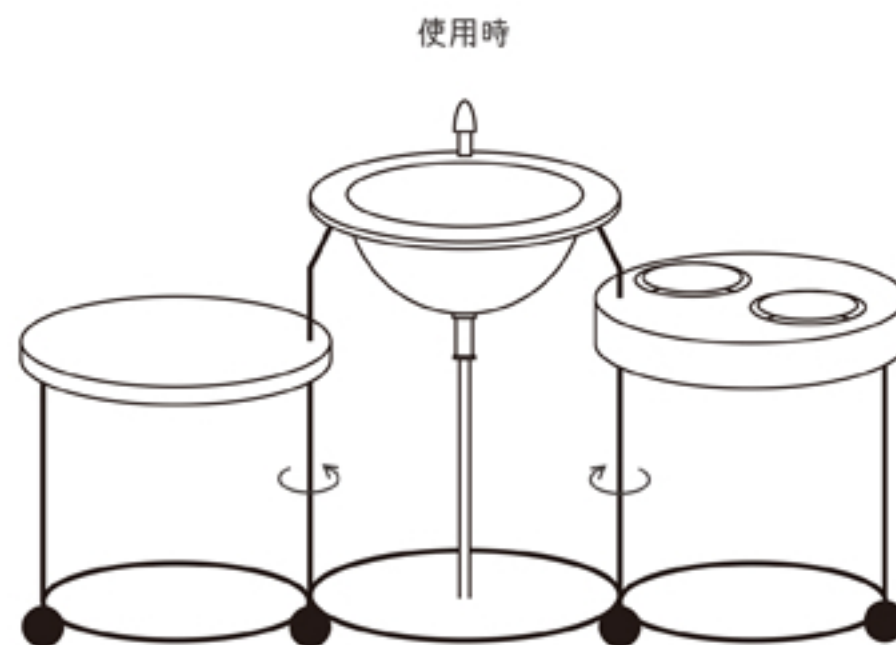
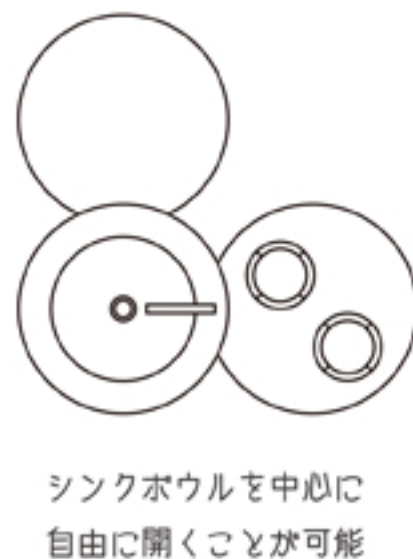
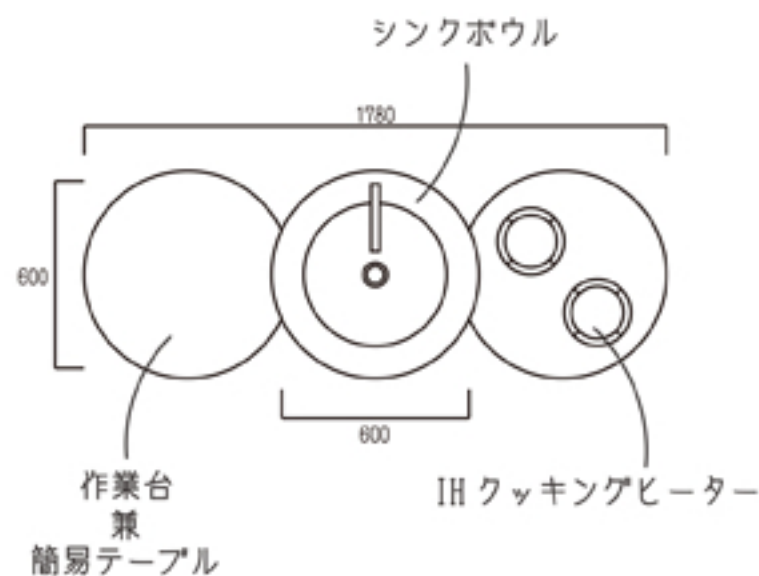
何故か？



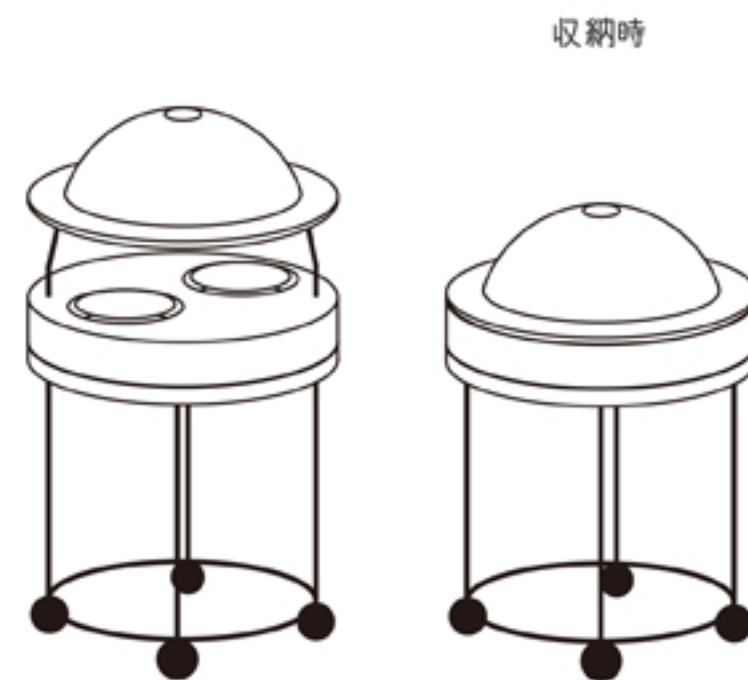
家の中に“キッチン”という場所を
特別に設けたことによる作用と考える。

“家具としてのキッチン”
キッチンという場所を作らない
新しい提案

キッチンを家具として扱うことで、今までと違う部屋の使い方が出来る。
また、食事の時にキッチンを広げることによって、調理～食事の過程を“家族との時間”と認識し、自然と家族間の会話も増え、作業しながらコミュニケーションも取れる。



給排水・給電はホースや電気コードを繋いで行う



シンクボウルはキッチンの帽子となる